

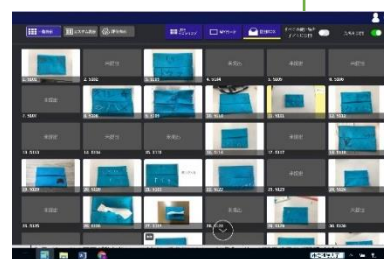
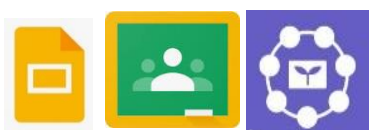
第5学年 家庭科「ソーイング はじめの一步」

本單元における学習者用端末の利活用

○手だて

- Google スライドに活動の手順やポイントをまとめた道具の使い方や縫い方の動画の URL を載せたものを作る。それをクラスルームに送り、児童自身のペースで学習を進められるようにした。→**個別最適な学び**
- 単元の最後にフェルトでポケットティッシュ入れを作る。作品を画像に撮り、オクリンクで作品一覧にまとめ、みんなで共有し、鑑賞し合う。→**協働的な学び**

○使用したアプリやコンテンツ



本時の展開

【ねらい:玉結び・玉どめの仕方を知り、練習する】

	分	主な学習活動(2単位時間)
導入	5	1 学習の見通しをもつ。安全な活動の仕方について確認する。
展開	10	2 玉結び・玉どめを行う •Google スライドを活用し、学習内容や縫い方等を視聴する。
	58	3 Google スライドに沿って、練習布を使い玉結び・玉どめの練習する。(分からなくなったら、前のページに戻ったり、何度も見返したりすることができる。) •ペア同士で、教え合うことを確認し、基本的な技術の定着を目指すとともに、対話的な学びを進める。
	10	4 片付けと掃除をする。
まとめ	7	5 振り返りをする。(挙手) •玉結び・玉どめのやり方について、できたことや課題点についてまとめる。 •Google スライドを使った学習方法を理解する。



<学習者用端末の利活用>



成果と課題

- 個別指導において学習者用端末を使うことで、児童は主体的に判断し、活動をすすめることができた。何度も師範指導の動画を見ることができるので、安心して情報を獲得し、自信をもって活動することができた。また、スライドにすることで見通しをもつことができた。
- 学習資料の活用に気付けない児童に対し、使う場面や使い方を示す必要がある。